

第15回 のじぎくオープンゴルフ選手権大会
1次予選競技会

開催日：令和3年3月4日（木） 予備日：3月5日（金）

兵庫県ゴルフ連盟

開催コース：ジャパンビレッジゴルフ倶楽部

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭、又は白線をもってその限界を定める。
3. コース内の池及びクリークは、すべてペナルティーエリアとし、その境界は赤杭、又は赤線で表示する。
4. 東コース2番、5番、9番、西コース5番、6番、7番ホールにおいて、第1打がOBに入った場合は、前方特設ティより第4打でプレーすることができる。
5. 排水溝は動かさない障害物とする。
6. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
7. 特定の用具の使用制限
『適合ドライバーヘッドリスト・ローカルルールひな型 G-1』を適用する。
『溝とパンチマークの仕様・ローカルルールひな型 G-2』を適用する。
『適合球リスト・・・ローカルルールひな型 G-3』を適用する。
8. 規則 5. 5b は次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
 - ・終了したばかりのパットンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
 - ・終了したばかりのパットンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパットンググリーンをテストする。
9. プレーの中断と再開
 - (1)プレーの中断（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、規則 5. 7a, b, c, d に従って処置すること。
 - (2)険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。
1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。
競技者がすぐにプレーを中断しなかったとき、規則 5. 7b に定められている、プレーを止めなかったことが正当であると委員会が裁定した場合、罰はない。
 - (3)プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断：カート無線により連絡する。
険悪な気象状況による即時中断：カート無線により連絡する。

プレーの再開： カート無線により連絡する。

競 技 の 条 件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. 競技終了時点
本予選競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
4. 移動
正規のラウンド中、乗用カートの乗車を認める。
5. タイの決定
順位がタイの場合は『マッチング・スコアカード方式』により順位を決定する。
6. 通過者
2次予選会への通過者決定は、JGA/USGA HdcP Index Aクラス(～11.0) Bクラス(11.1～20.0)にクラス分けを行い、Aクラス・Bクラスあわせて40名の方が進出できる。総参加者数により、通過者数に端数が出る場合は、A・Bクラス分けをした時点のクラス別総参加人数が多いクラスへ比例配分時に1名多く付与します。
7. 本競技のスコアは、「トーナメントスコア」としてNEW J-sys 内で扱われる対象の競技スコアとなる。本競技のスコアをNEW J-sys にプレーヤーもしくはプレーヤーの所属するゴルフ倶楽部が登録する際、スコアの種別を「トーナメント」に指定して登録すること。

注 意 事 項

1. 男性ティーマーク： 青マーク 女性ティーマーク： 金マーク
2. 正規のラウンド中に2点間の直線距離以外の高低差などが計測できる距離測定器を使用した場合は、プレーヤーは規則 4.3a (1) の違反となる。
3. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スタート前に掲示して告知する。
4. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
5. 練習は、指定練習場で行い、打球練習場では備え付けの球を使用すること。(スタート前の練習球は1籠までとする)
9ホール終了後、看板設置の指定練習グリーンでのパッティング練習は可とする。(本競技はスル

ープレーではない)

6. スタート時間10分前には、必ずティイングエリア周辺に待機すること。
7. スタートホールにて最新のJGA/USGA Hdcp Index 証明証(ハガキ・プリントアウト・アプリ画面)をご提示して下さい。
8. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。プレーの不当な遅延は、ゴルフ規則 5. 6a により罰せられる。
9. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。これを怠ると、規則 10. 2a により罰せられることがある。なお、部外者のコース内立入りは禁止する。
10. 委員会は競技中を含め、いつでも出場者に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。

競技委員長 澁谷 大輝